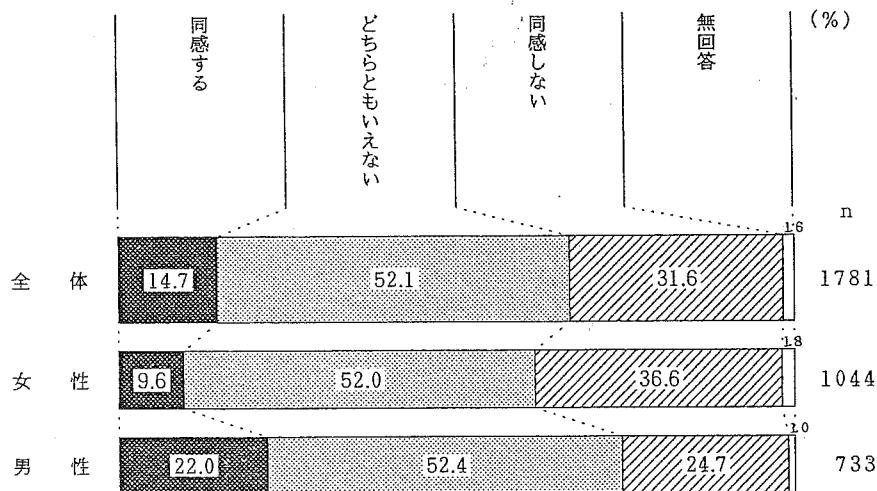


# 「女性施策に関する市民意識調査」

## 《 概 要 版 》

◎ 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業については、「同感しない」という女性が36.6%と、男性(24.7%)を上回っています。

【「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業への賛否】



このパンフレットは、平成8年1月に市民の皆様のご協力のもとに行われました「女性施策に関する市民意識調査」のあらましです。

この調査は、我孫子市における男女平等に関する意識や女性がおかれている生活実態などを総合的にとらえ、今後の女性行政を推進するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

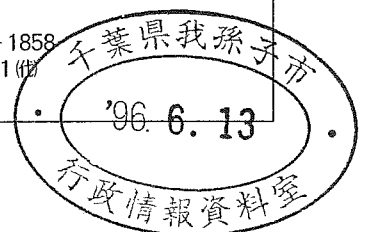
ご協力いただいた市民の皆様に、心からお礼申し上げますとともに、この結果を今後の市政に活用してまいりたいと思います。

----- このパンフレットのみかた -----

- ・調査対象 満20歳以上の市民
- ・対象数 3,000人
- ・回収数 1,781人 (59.4%)
- ・調査方法 郵送法
- ・調査期間 平成8年1月12日(金)～24日(水)
- ・M.A.とあるのは、1回答者が2つ以上の回答をすることができる質問です。
- ・nは比率算出の基数であり、100%が何人の回答に相当するかを示しています。
- ・この中の数値はすべて回答者全員を100%とした比率(%)です。
- ・ただし、四捨五入の関係で合計がちょうど100%にならない場合があります。
- ・また、複数回答の場合は合計が100%を超えることがあります。

我孫子市役所企画財政部企画課

〒270-01 千葉県我孫子市我孫子1858  
TEL (0471) 85-1111(内)

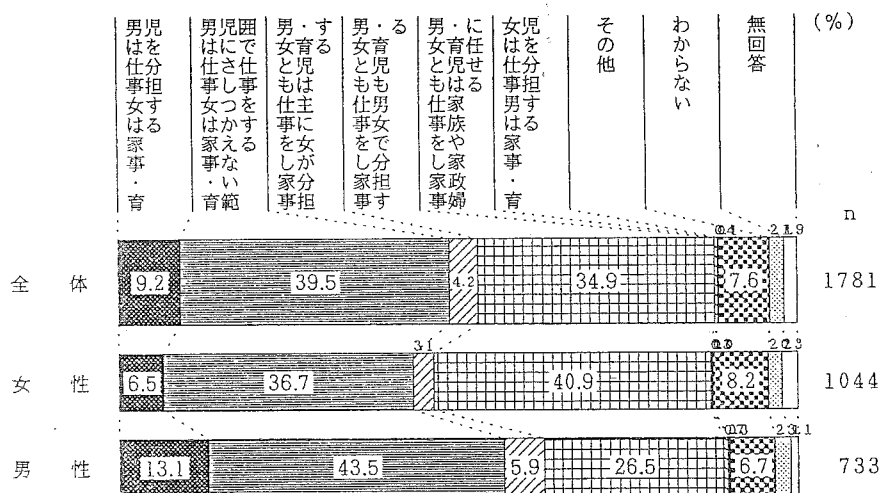


## 性別役割分業への賛否

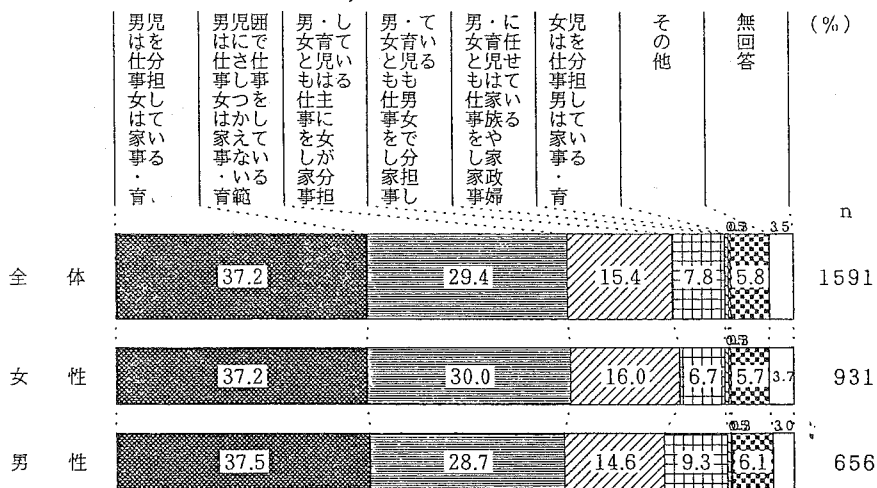
◎ 理想は「男女とも仕事をし、家事・育児も男女で分担する」という女性が40.9%を占めていますが、現実に男女平等の役割分担をとっている家庭は6.7%と少なくなっています。

【家庭内の役割分担の理想と現実】

【理 想】



【現 実】

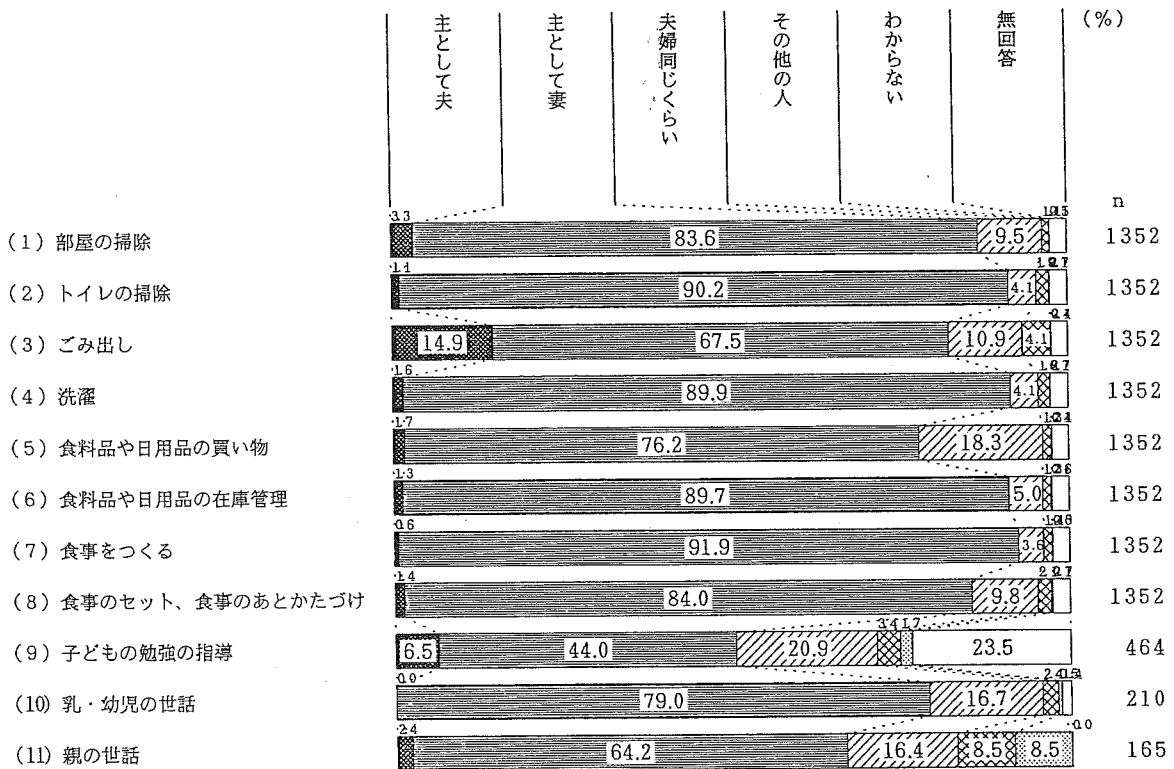


(注) 「現実」の比率は、調査回答者から「分担するような男性(女性)がいない」を除き、成人男女がいる家庭に換算したのを使っています。

## 性別役割分業への賛否

◎ 家庭内の役割分担をみると、「子どもの勉強の指導」を除く、家事・育児の各分野で、「主として妻」が圧倒的に多くなっています。

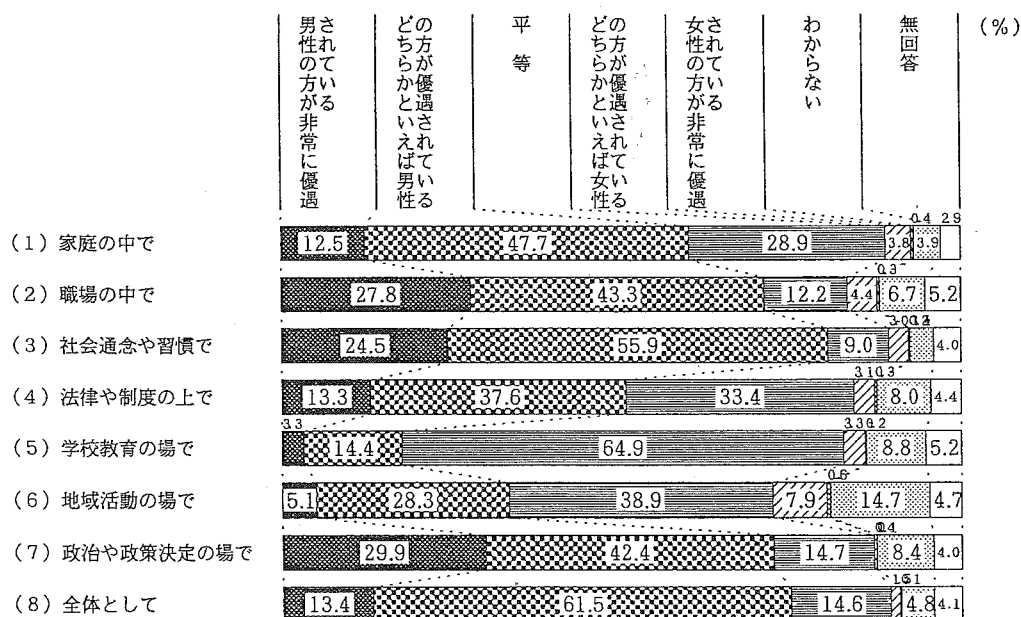
【家事・育児分担の実態】



# 男女平等観

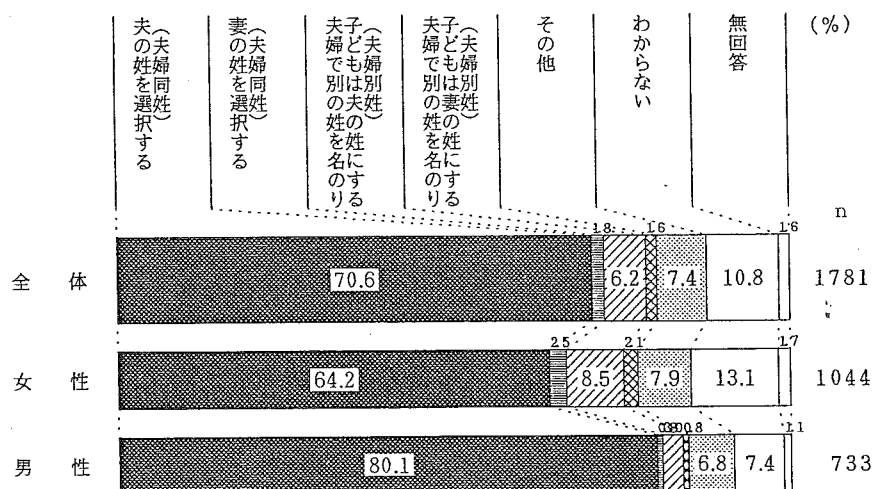
◎ 「政治や政策決定の場で」、「職場の中で」、「社会通念や習慣で」については、「男性の方が非常に優遇されている」との評価が高くなっています。

【分野別男女平等評価】



◎ 男女とも「夫の姓を選択する（夫婦同姓）」が圧倒的に多く、特に男性では8割を占めています。

【夫婦別姓の選択意向】

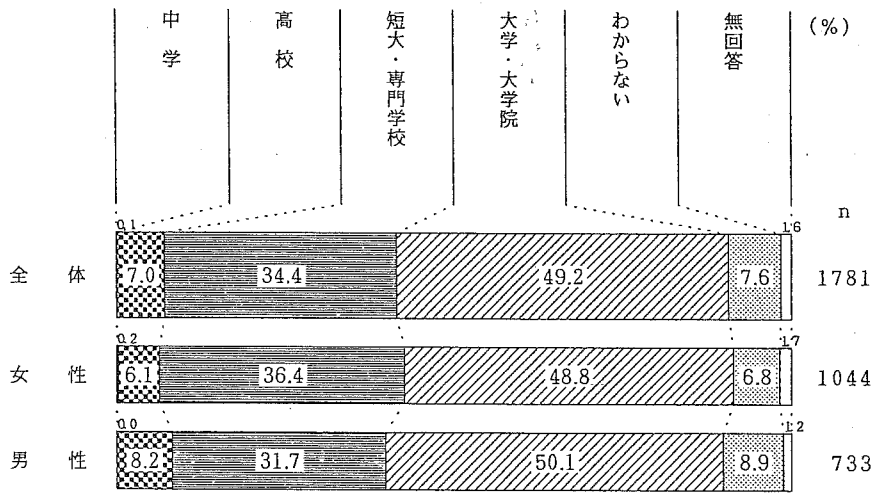


## 子どものしつけと教育

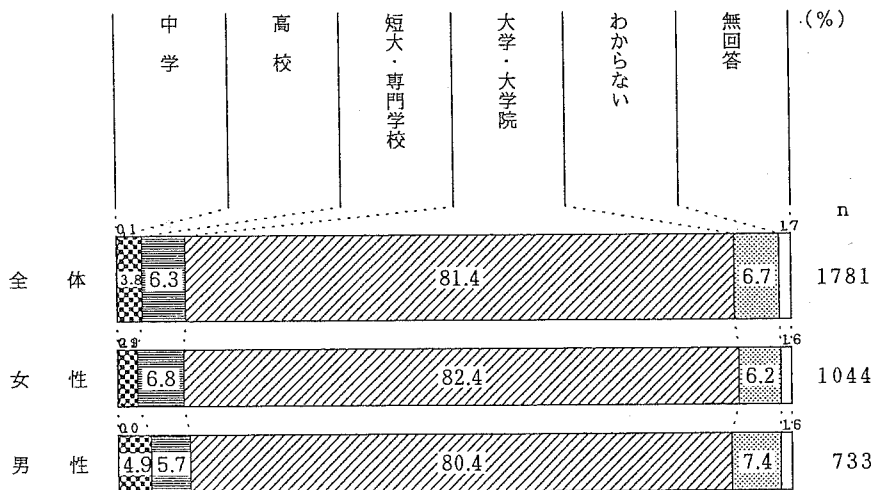
◎ 男の子については、「大学・大学院」が圧倒的に多くなっています。一方、女の子については、「大学・大学院」と「短大・専門学校」に二分しています。

### 【子どもの進学】

女の子に希望する教育程度



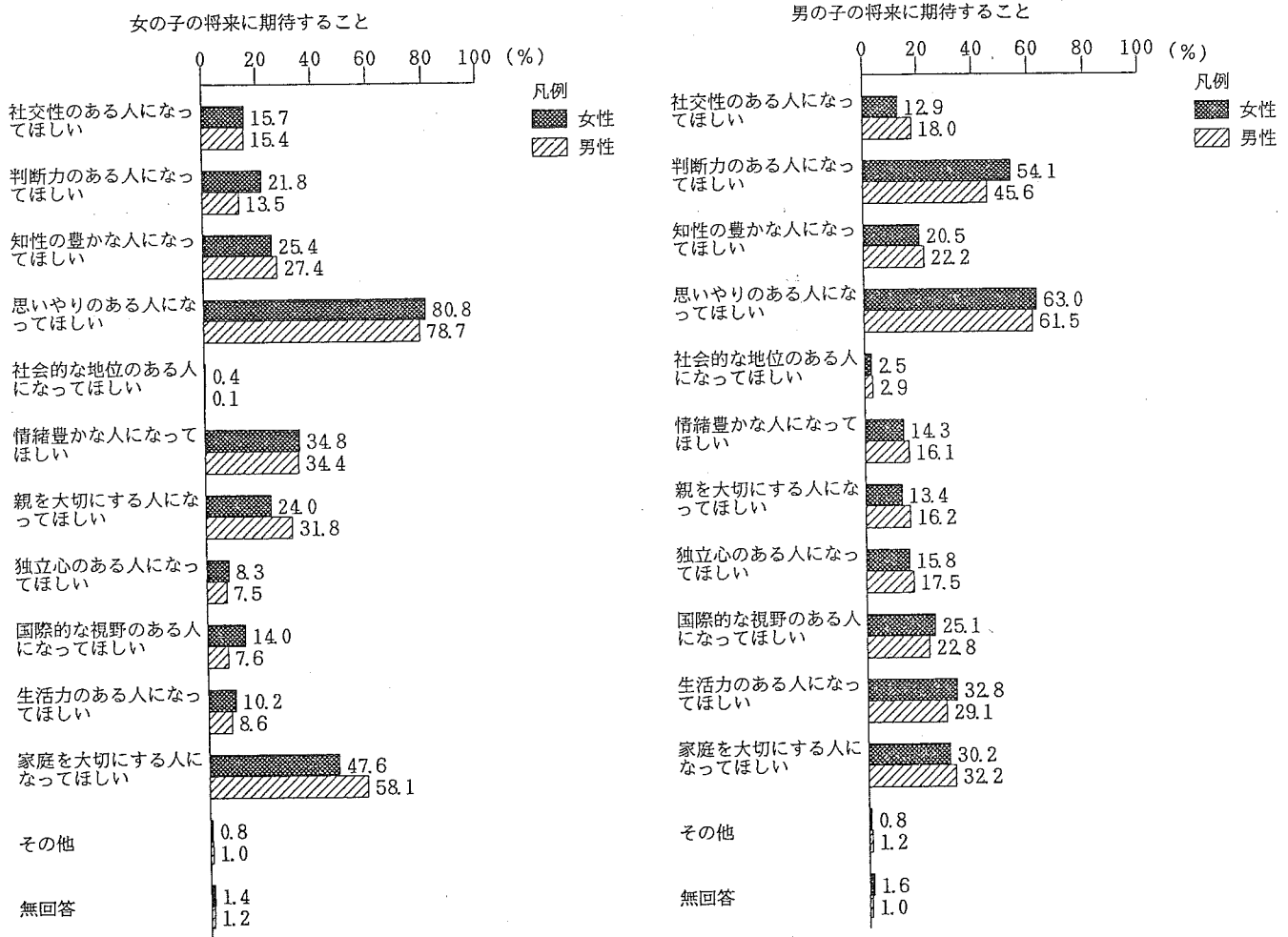
男の子に希望する教育程度



## 子どものしつけと教育

◎ 望ましい女性像は「思いやりのある人になってほしい」(女性80.8%、男性78.7%)に集中しているのに対して、男性像は「思いやりのある人になってほしい」(女性63.0%、男性61.5%)だけでなく、「判断力のある人になってほしい」(女性54.1%、男性45.6%)、「生活力のある人になってほしい」(女性32.8%、男性29.1%)「家庭を大切にすること人になってほしい」(女性30.2%、男性32.2%)に分散しています。

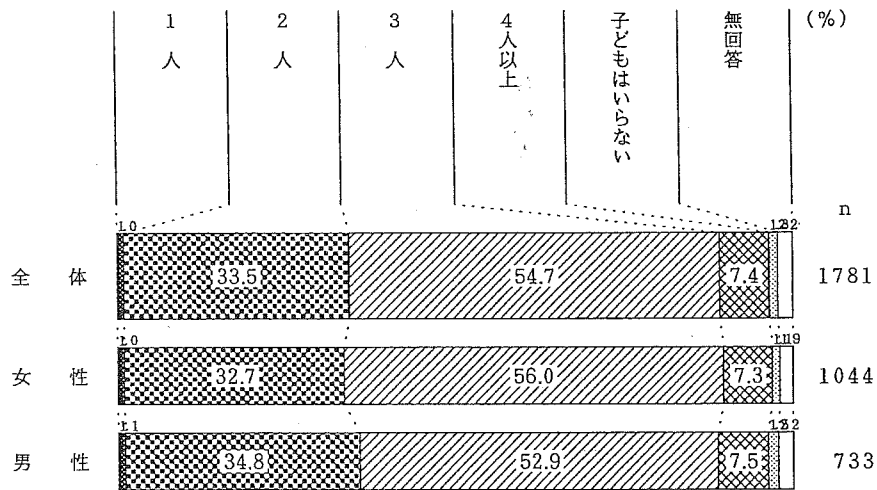
【子どもに期待する人間像】



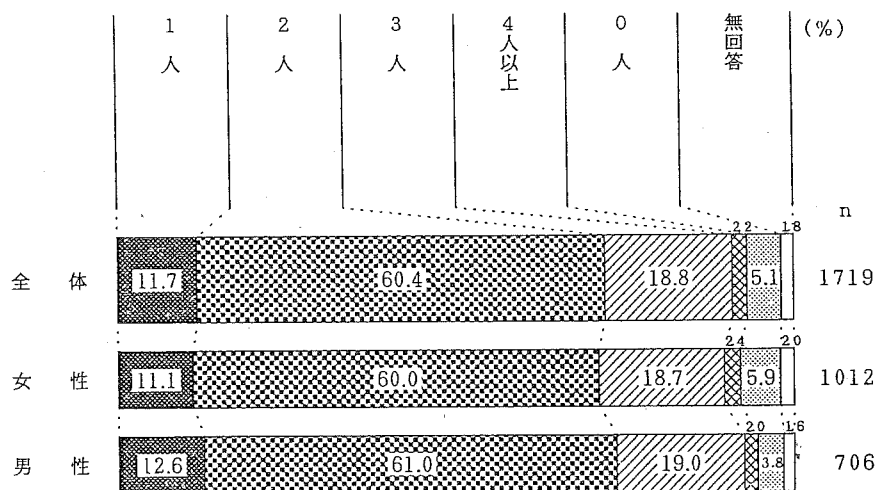
## 少子化について

◎ 理想は「3人」、現実には「2人」が多くなっています。

【希望出産数】



【現実の出産数】

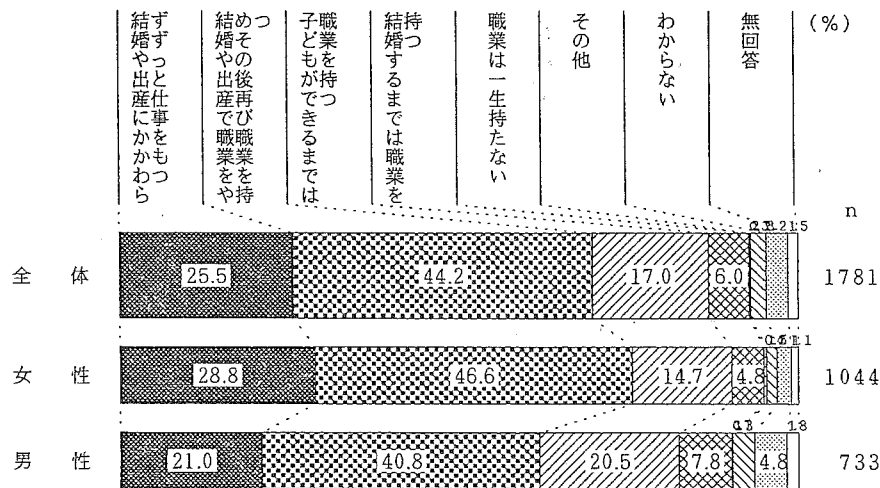


# 女性と仕事

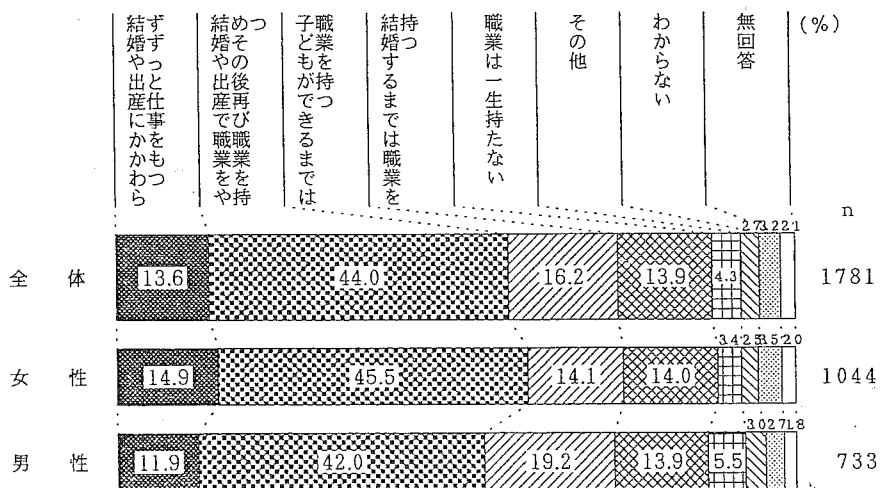
◎ 理想も、現実も《中断再就職型》が半数近くを占めています。

【女性のライフコースの理想と現実】

【理想】



【現実】

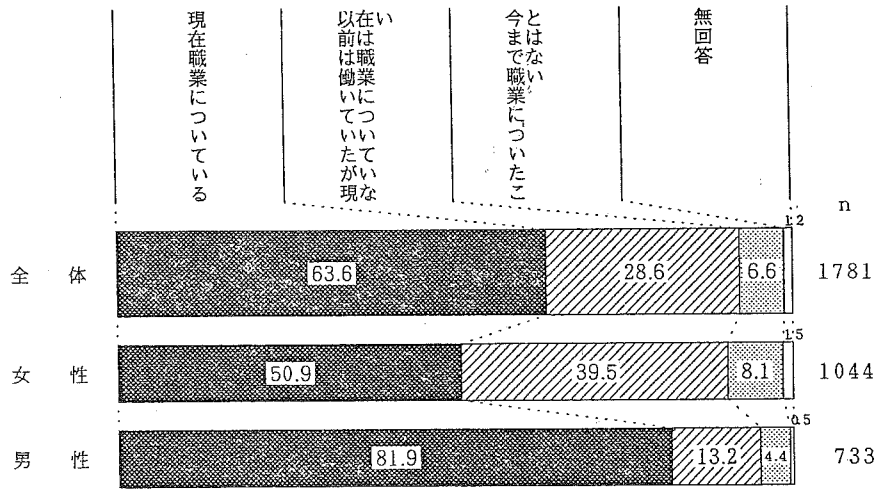




## 女性と仕事

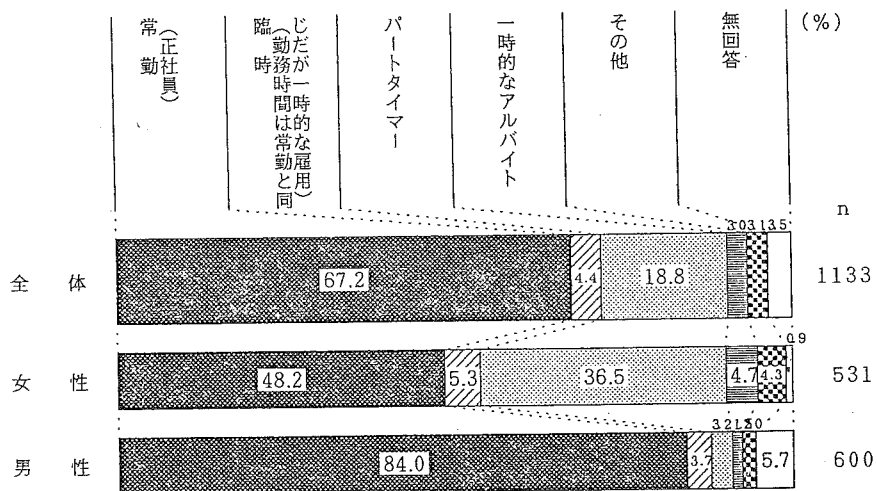
◎ 男性では8割、女性では5割が現在、職業についています。

【就労状況】



◎ 女性では、「常勤」と並んで「パートタイマー」が多くなっています。

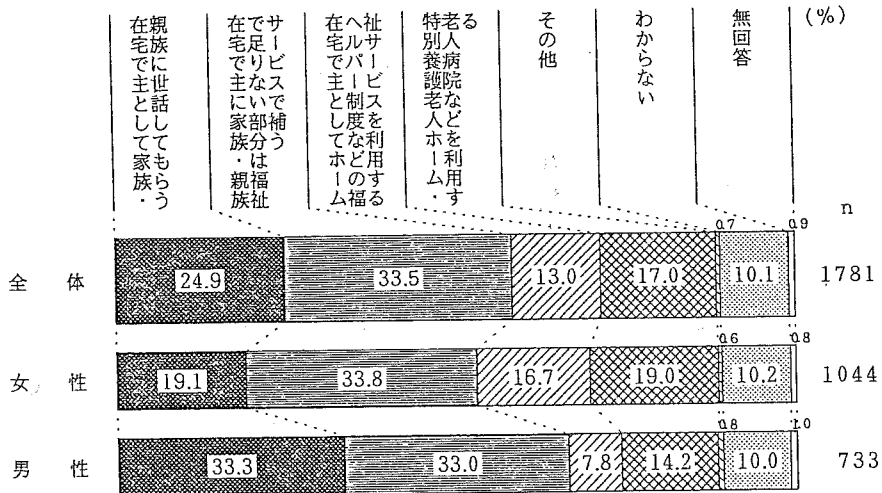
【勤務形態】



## 高齢者問題

◎ 男性では、「在宅で主として家族・親族に世話してもらう」が3割強を占めています。

【望ましい自分の介護形態】

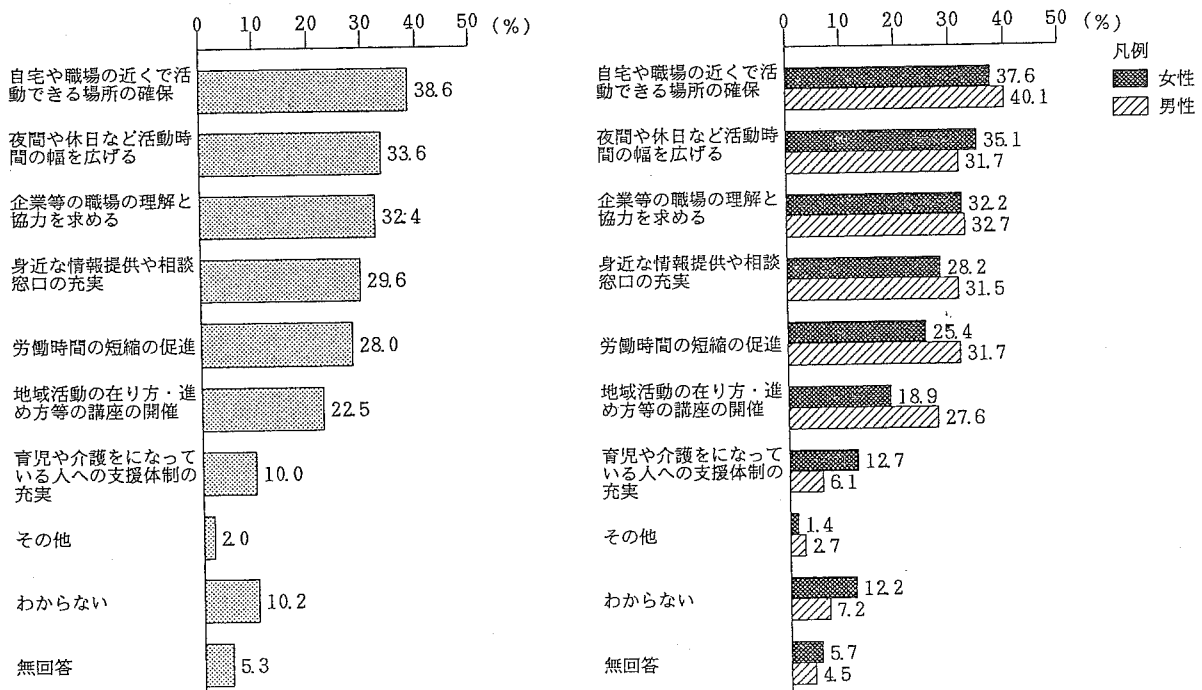


## 社会参加

◎ 「自宅や職場の近くで活動できる場所の確保」や「夜間や休日など活動時間の幅を広げる」等に分散しています。

【男性の地域活動への参加促進の条件】

n = 全体 1781、女性 1044、男性 733

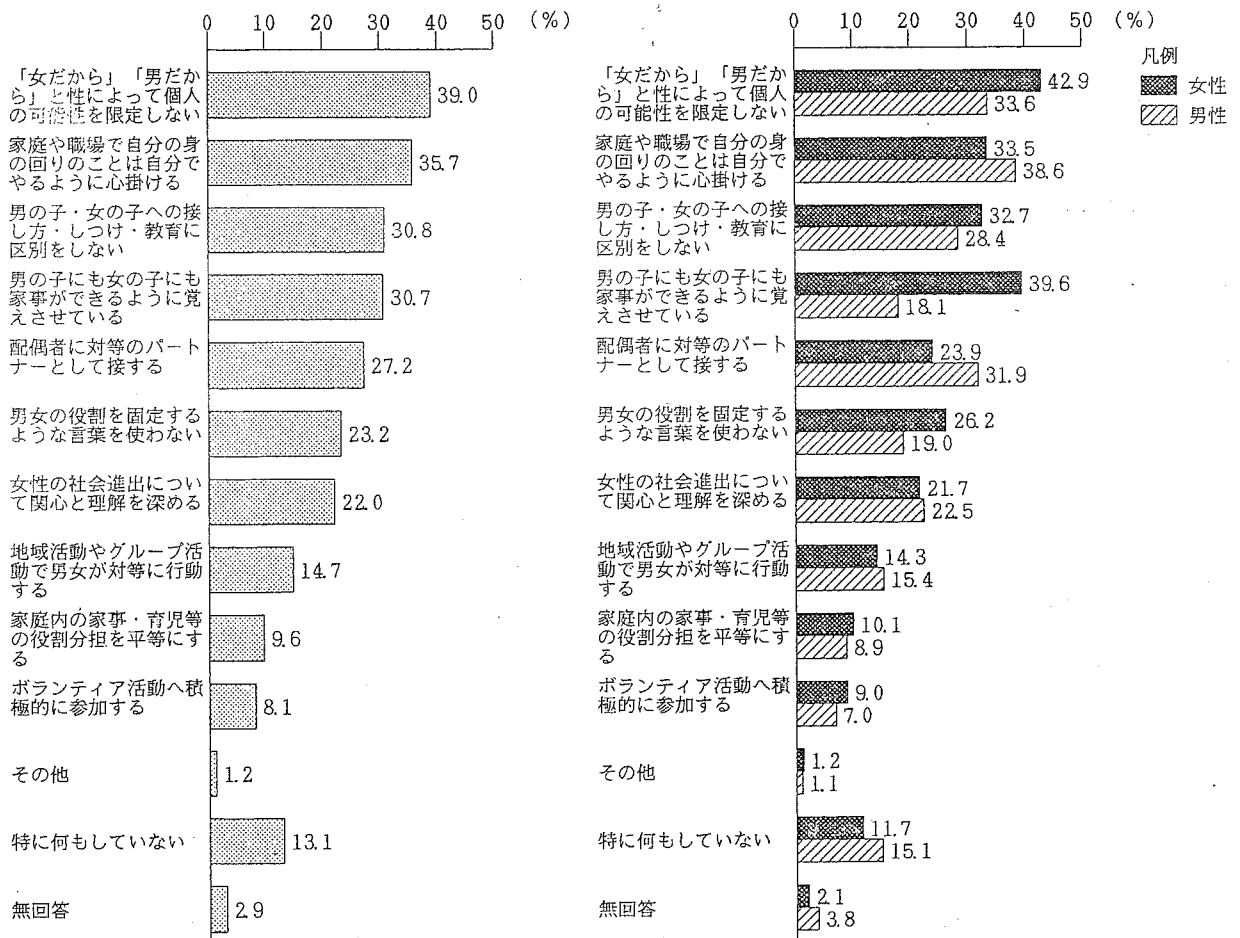


## 男女平等社会の実現に向けて

◎ 女性では「『女だから』『男だから』と性によって個人の可能性を限定しない」と「男の子にも女の子にも家事ができるように覚えさせている」が特に多くなっています。

【男女平等を進めるために日ごろ気をつけていること】

n = 全体 1781, 女性 1044, 男性 733



## 男女平等社会の実現に向けて

◎ 男女とも「女性が働きやすい社会環境の整備」が最も多くなっています。

n = 全体 1781、女性 1044、男性 733

